

平成 20 年 度 年 間 指 導 計 画

広島市立沼田高等学校

科目	世界史 A	単位数	2	対象生徒	1 学年 普通科
目標	20世紀の歴史を詳しく学習する。その前提として諸文明世界が交流した時代、世界が一体化する過程も学ぶ。現在の人類が抱える課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。				
評価方法	授業への取組姿勢、出席状況 問題演習 定期試験 課題等を総合して評価				
使用教材	柴田三千雄他著『現代の世界史』世界史 A、山川出版社 副教材：第一学習社編集部編『ダイアログ世界史図表』第一学習社				
学期	月	指導内容及びその編成			備考
1	4	第 1 部 諸地域世界の交流圏 第 1 章 諸地域世界の特質 第 2 章 ユーラシアの交流圏			中間考査 期末考査
	5	第 2 部 一体化する世界 第 1 章 アジア諸国の繁栄 第 2 章 一体化の始まりとヨーロッパの主権国家			
	6	第 3 章 ヨーロッパ近代の確立 第 4 章 アジア諸国の繁栄と日本			
	7	第 5 章 帝国主義時代			
	2	第 3 部 現代世界と日本 第 1 章 急変する人類社会 第 2 章 2 つの世界大戦と平和			
3	1	第 3 章 米ソ冷戦とアジアアフリカ諸国			学年末考査
	2	第 4 章 地球社会の歩みと日本			
	3				

科目	日本史B	単位数	3	対象生徒	2学年普通科選択者
目標	我が国の歴史の展開を世界史的視野に立って総合的に理解させ、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に生きる日本人としての資質を養う。				
評価方法	定期考査・課題テスト・ノート制作				
使用教材	教科書：「詳説 日本史」 山川出版社 副教材：「最新 日本史図表」 第一学習社 「新日本史B 要点ノート」啓隆社				
学期	月	指導内容及びその編成			備考
1 学期	4月	縄文文化の成立 弥生文化の成立 小国の成立			中間試験
	5月	邪馬台国連合 古墳の出現と大和政権			
	6月	大陸文化の受容 古墳時代の人々の生活 中央集権の歩み 推古朝のあゆみ			期末試験
7月	飛鳥文化 大化改新				
2 学期	9月	白鳳文化 班田収授と農民 平城京の時代 天平文化 平安遷都 摂関政治			中間試験
	10月	国風文化 荘園と武士			
	11月	院政と平氏の台頭 源平の争乱 幕府と朝廷			期末試験
	12月	北条氏の台頭 武士の生活			
1月	元寇 幕府の滅亡 鎌倉文化 鎌倉幕府の滅亡				
3 学期	2月	室町幕府 惣村の形成と土一揆 幕府の動揺と応仁の乱 産業・商業の動揺 室町文化			学年末試験
	3月	戦国大名の登場			

科目	地理 B	単位数	3	対象生徒	2 学年普通科選択者
目標	地理的な見方・考え方を身につけます。 地理的事象や地域の相互関連を世界的視野に立って考察します。 国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養います。				
評価方法	地理的事象に対する関心・意欲・態度 地理的事象や地域の関連性に対する知識・理解 地理的課題に対する思考・判断 図や統計資料等の資料活用についての技能・表現				
使用教材	教科書：教科書 新詳地理 B 初訂版 帝国書院 副教材：地図帳 新詳高等地図（初訂版） 帝国書院 '08 新地理 B 要点ノート 啓隆社				
学期	月	指導内容及びその編成			備考
1 学期	4月	自然環境と生活 生活の舞台としての地形			中間試験
	5月	世界の地形			
	6月	生活に影響を及ぼす気候 世界の気候 気候の成り立ち 世界の気候区分 植生と土壌			期末試験
	7月	日本の自然の特徴と人々の生活 日本の地形 日本の気候			
2 学期	9月	資源と産業 産業の発達と変化 農産物の生産と流通 世界の農業、日本の農業 資源の生産と消費			中間試験
	10月	エネルギー資源 石炭・石油 天然ガス・電力			
	11月	工業製品の生産と流通 工業の発達と立地 世界の工業地域			期末試験
	12月	生活と文化 衣食住			
3 学期	1月	民族（言語、宗教） 消費と余暇活動 村落と都市			学年末試験
	2月	世界の諸地域 市町村規模の地域調査			
	3月	地域をみる方法 アメリカ合衆国			

科目	世界史 A	単位数	2	対象生徒	2 学年体育コース
目標	20世紀の歴史を詳しく学習する。その前提として諸文明世界が交流した時代、世界が一体化する過程も学ぶ。現在の人類が抱える課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。				
評価方法	授業への取組姿勢、出席状況 復習問題演習 定期試験 レポート等を総合して評価。				
使用教材	柴田三千雄他著『現代の世界史』世界史 A、山川出版社 副教材： 第一学習社編集部編『ダイアログ世界史図表』第一学習社				
学期	月	指導内容及びその編成			備考
1	4	第 1 部 諸地域世界の交流圏 第 1 章 諸地域世界の特徴 第 2 章 ユーラシアの交流圏			中間 考査
	5	第 2 部 一体化する世界 第 1 章 アジア諸国の繁栄 第 2 章 一体化の始まりとヨーロッパの主権国家			
	6	第 3 章 ヨーロッパ近代の確立 第 4 章 アジア諸国の繁栄と日本			
	7	第 5 章 帝国主義時代			
	2	第 3 部 現代世界と日本 第 1 章 急変する人類社会 第 2 章 2 つの世界大戦と平和			
2	1	第 3 章 米ソ冷戦とアジアアフリカ諸国			学 年 末 考 査
	2	第 4 章 地球社会の歩みと日本			
	3				

科目	日本史 A	単位数	2	対象生徒	2 学年体育コース	
目標	わが国の歴史の展開を、世界史的視野にたつて理解させ、特に近代社会の成立と発展の過程をわが国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に生きる日本人としての資質を養う。					
評価方法	定期試験、小テスト、課題（ノート製作、レポート製作 など）、授業態度					
使用教材	教科書： 山川出版社「日本史 A 改訂版 現代の日本史」 副教材： 第一学習社「最新 日本史図表」					
学期	月	指導内容及びその編成			備考	
1	4	日本史を学ぶにあたって				
		第 1 部 近代以前の日本社会 第 1 章 古代国家の形成と大陸文化の摂取 1 先史時代の日本 2 大陸と日本 3 古代国家 4 律令国家の変質 5 古代の文化				
	5	第 2 章 中世社会の展開 1 武家政治の開始 2 武家政治の進展 3 庶民の台頭 4 中世の文化				中間試験
		第 3 章 ヨーロッパ文化の接触と鎖国 1 天下統一 2 江戸幕府の成立 3 対外関係の限定				
	6	第 4 章 幕藩体制の確立 1 幕藩体制 2 農村と都市 3 近世前期の文化				期末試験
		第 5 章 幕藩体制の成熟と国際環境の変化 1 幕藩体制の成熟 2 近代化への道 3 教育の普及と新思想 4 西洋国家の再接近				
	2	9	第 2 部 近代・現代の日本社会 第 1 章 欧米文化の導入と明治維新 1 開国 2 幕府の崩壊 3 明治維新 4 富国強兵 5 外交と内乱			
第 2 章 近代国家の成立 1 立憲国家をめざして 2 憲法制定と議会開設 3 条約改正と朝鮮問題 4 清国との戦い 5 藩閥と政党 6 ロシアとの戦い 7 日露戦争後の日本						
10		第 3 章 資本主義の発達と近代文化の形成 1 産業革命の進展 2 資本主義の発達				

		3 社会問題の発生 4 明治の文化 5 国民生活の変化	中間試験
	11	第4章 第一次世界大戦と大正デモクラシー 1 政党勢力の拡張 2 第一次世界大戦と日本 3 高まるデモクラシー 4 国際協調と軍縮 5 憲政の常道 6 戦中・戦後の経済と社会 7 都市化と大衆文化	期末試験
	12	第5章 第二次世界大戦と日本 1 昭和の恐慌 2 深まる内外の危機 3 満州事変と国際連盟脱退 4 軍部の支配 5 中国との戦い	
3	1	6 第二次世界大戦と世界新秩序 7 太平洋戦争 8 日本の敗北	学年末試験
	2	第6章 占領下の日本 1 占領政策の展開 2 戦後民主主義の定着 3 政治・経済の再建 4 独立の回復	
		第7章 日本の自立と経済成長 1 55年体制 2 安保体制下の日本 3 日本経済の成長 4 経済大国 5 現代の世界と日本	